

		公表 保護者等からの事業所評価の集計結果						
事業所名	こばんはうすくら広島府中教室（児童発達支援）	公表日 令和8年1月20日						
利用児童数 19 回収数 16								
		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	15			1	子どもの全体人数が不明のため、わかりません。	基準より広いスペースはスペースは確保しております。教室内の配置を工夫しながら子ども達が活動しやすい環境を作っています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	12			4	・職員の全体人数が不明のため、分かりません。 ・何人の利用児さんにつき何人かの職員さんが対応されているのか存じ上げないのでよくわかりません。	職員配置に関しては、指定基準を満たしながら、配置を充実していくようにしています。
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	12			4		水道やトイレ入口の段差は踏み台などを置いて、子ども達が安全に使いやすいように取り組んでいます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	14			2		毎日清掃を行なながら感染対策を行っておられます。
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	16					ありがとうございます。 今後も活動の様子等をHUGや送迎時にお伝えしていきます。 また、研修当を行いながら、支援の質を高めていけるようにしていきます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	12			4	支援プログラムについて確認することがないように思います。よくわかりません。	支援プログラムはこばんはうすのホームページにありますので、確認してみてください。
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	16				面談でしっかり話をきいてくださり、計画が作成されていると思います。	モニタリングやアセスメントを行いながら、利用児童に合わせた個別支援計画を作成させていただいております。
							保育園や家庭では見つけられなかった本人の課題を、丁寧に関わっていただく中で見つけていただき感謝しています。	
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	16					ありがとうございます。 モニタリング時に聞き取りをさせていただいたことを基に作成させていただいております。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	15	1			着衣の着脱支援（上着）の頻度を上げてほしい。	支援内容での取り組みをわかりやすくHUGなどでお伝えするようにしていきます。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	14	1		1	・週1利用のため、よくわかりません。 ・屋外でも室内でも、バリエーション豊かな活動を準備くださり、本人も私たち刺激をいただいています。 ・季節によって色々な工夫がされていると思います。	日々の活動内容の目的や意図について、サービス提供記録等で発信していく、お伝えできるようにしていきます。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	6	1		9	地域での活動に参加して本人も嬉しそうです。	地域のお祭りや地域の施設を利用させていただく機会を提供しています。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	15	1			定期的に面談があり一緒に問題を考える時間がある。	
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	16				面談で普段の様子やどのように関わってくれているのか説明もあった。	できるだけわかりやすく説明が行える様に取り組んでいます。
保護者への説明	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	14	1	1		・親睦会等を開催してくださり、いろいろなお話を聞けるのでできるだけ参加させていただいている。 ・ペアレントメンターとの交流会など行政でも連携して他の児発にはないならではの活動をしてくださっていると感じます。	親睦会やペアレントメンターとの交流の機会を設けさせていただき、子育てのヒントとなることを今後もお伝えしていきます。
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	16					今後もHUGや送迎時にお子様の様子等をお伝えしていきます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	15	1			支援計画作成時だけでなく今後も就学を見据えて2-3ヶ月に1回のペースでお時間をいただけると嬉しい思います。	相談しやすい環境を作っています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	16				・とてもそう思います。 ・愛されて可愛がられて大切にしていただけていることに励まされています。いつもありがとうございます。	ありがとうございます。ご利用児、保護者の方の状況把握に努め、支援につなげています。

等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	12	3		1	兄弟への支援はないように感じます。	秋祭りやクリスマス会等で保護者同士の交流やきょうだいもできるイベント等の機会を今後も作ってまいります。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	16				・相談したことを保育園にすぐに共有してくださった。 ・とても相談しやすいと思います。	ありがとうございます。いつでも寄り添つていただける存在でありたいと思っています。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	16				HUGにて、毎回丁寧な活動記録を作成してくださり大変ありがとうございます。	研修などを行いながら配慮や支援などの質を高められるよう努めてまいります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	15	1				HUGやホームページの必要な情報を更新していくまでの、ご確認をお願いいたします。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	12	2		2		個人情報は鍵付きの書庫に保管する等、充分に気を付けて管理しております。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	12	2		2	訓練はされているがマニュアルについての周知は不十分だと感じます。	マニュアルは事業所玄関にありますので、来られた際に確認していただけたらと思います。訓練は行った際にHUGで訓練報告をしていますので、ご確認をお願いいたします。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	14			2		安全計画に基づき、訓練を実施しています。行った訓練に関してはHUGで報告していますので、ご確認をお願いいたします。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	13	1		2		安全計画は事業所玄関にありますので、来られた際に確認をお願いいたします。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	15			1		今後も事故等が起った際は状況について報告をさせていただきます。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	16				安心して帰っていると思います。	今後も子ども達が安全で安心できる環境を整えていきたいと思います。
							行き帰りも本当に楽しそうと園の先生から言われます。	
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	15	1			毎日楽しく帰っています。	子ども達が楽しく通える様に活動プログラムを工夫していきたいと思います。
	29	事業所の支援に満足していますか。	15	1			・療育の内容については満足しています。 集金袋に入れたお金が回収されないままのことが多くあり お金の管理は丁寧にしてほしい。 ・とても満足しています。 ・施設内だけでなく外出もあり、とてもよくしてくださってだと思います。	提出物の集金袋の管理をスタッフ内でしっかりと連携をとり、丁寧に管理していくよう努めてまいります。

## 公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		こばんはうすさくら広島府中教室（児童発達支援）				公表日	令和8年 1月 20日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		活動内容・利用人数によりスペースの配置を工夫している。		
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		配置基準を満たしている。	職員の休憩時間は、十分な対応を行うには人員が足りないと感じる時がある。休憩時間の取る時間帯などを工夫していく。	
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		活動によってスペースを分けている。段差がある場所は踏み台を使用するように工夫している。	棚の固定をして危険度を減らしていく。物品の管理や事務エリアをもう少し明確化できるとよい。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日清掃を行い、感染対策を行っている。机上のエアリと運動スペースが分かれているので、それぞれが安心して過ごせるように工夫している。	マット下の清掃がしにくく、汚れが溜まりやすい。	
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		状況に応じて静養室に移動して支援できるようしている。		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。		○	毎日の振り返りを出勤の職員を行い、休みの職員が確認できるよう業務日報にも記載している。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者向けの評価表を職員間で共有しながら業務改善に努めている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		○	振り返りの時間に、意見交換や支援方法の確認を行うようにしている。	発信・受信の仕方が明確になっていない事案もあるので、どのようにすることで職員全員が共有できるかを考えていきたい。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		現在、第三者評価は行っていない。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		ジョブメドレー等を活用しながら研修の機会を設けている。 全体研修や教室内での研修を行い、学べる機会を作っている。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		支援プログラムはホームページに公開している。		
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		アセスメントの情報等を職員に共有しながら支援計画の作成をしている。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		職員への聞き取りを行いながら、支援内容を検討している。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		HUGでいつでも計画を確認できる環境を作っている。		
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		アセスメントツールを標準化し、定期的に見直しを行うようにしている。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		ガイドラインと共に5領域の観点で支援内容やねらいを立て、項目が分かりやすいように計画している。		

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○	担当がプログラムを立案し、他の職員の意見を参考にしながら本案をしている。 活動プログラムの内容によっては、職種の強みを生かして立案している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○	利用児童状況を見ながら、活動プログラムが固定化しないように調整している。 ひと月単位で、5領域の観点で支援が網羅されているかを確認している。 繰り返しの活動で経験機会が増え見通しが持てることで子ども達が楽しめるよう、工夫している。	
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○	生活場面で必要な個別の活動・評価の介入と集団活動の双方を実施している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○	送迎前にその日行う支援や活動内容を確認している。	シフトの関係で打合せが出来ていない職員もいるので、その日の活動内容をホワイトボードで確認できるようにしておき質問等がある時は、個人でリーダー職員に確認するような体制が取れる仕組み作りをしていく。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○	振り返りの時間を設けて、職員間で情報共有を行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○	HUGで支援の様子を等を記入し、職員がいつでも確認できる環境を整えている。	支援の検証・改善まで繋がっているかを確認することまで行つていただきたい。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○	6ヶ月に1回以上モニタリングを行い、計画の見直しを行っている。	
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○	児童発達支援管理責任者・現場職員で参加するようにしている。	
関係機関や保護者との連携	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○	必要に応じて、関係機関と情報共有を行うよう体制を作っている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○	一人一人に対し、関わりのある方々と情報共有や相互理解を図っている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○	系列の児童発達支援とは情報共有や支援内容に関して確認を取れる体制を作っている。	就学時の移行の際には、情報共有ができるないので、保護者を通して共有できる機会を作つていただきたい。
	28	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。			
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○	センターが主催している研修に参加している。	センターとの連携を図る機会を設けられない。今後必要に応じて相談していくようにする。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他の子どもと活動する機会があるか。	○	公園や地域の祭りなどで地域の子どもと一緒に遊ぶ機会を設けている。	
	33	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○	HUGや送迎時に保護者に様子や気になることがないか等、話をするようにしている。	

	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	<input type="radio"/>		定期的に家族参加の研修や情報交換の機会がある。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	<input type="radio"/>		必要な書類や規定等に関して、丁寧に説明をするように心がけている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	<input type="radio"/>		モニタリングとアセスメントを通して家族の意向を確認している。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	<input type="radio"/>		モニタリングを定期的に実施しながら、保護者の意向を確認している。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	<input type="radio"/>		相談を頂いた場合は、電話での対応や面談を行っている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	<input type="radio"/>		ペアレントメンターさんとの交流や秋祭り等のイベントで保護者同士、きょうだい児童の交流の機会を作っている。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	<input type="radio"/>		HUGでいつでも連絡を頂けるようになっている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	<input type="radio"/>		HUGや送迎時に苦情や不満に関して話があつた場合も迅速に対応している。	インスタはあるが、更新ができない。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	<input type="radio"/>		個人情報は、鍵付きの書庫等で管理している。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	<input type="radio"/>		専門用語を出来るだけ用いないように話をしている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	<input type="radio"/>		秋祭りで地域の方も参加できるように話をしている。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	<input type="radio"/>		必要なマニュアルを整備し、マニュアルに基づき訓練を行うようとしている。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	<input type="radio"/>		BCPを整備し研修及び訓練を行うようとしている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	<input type="radio"/>		アセスメントの際に、服薬状況の変化がないか確認するようとしている。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		<input type="radio"/>		医師の指示書が必要な食物アレルギーの対象者がいない。今後必要に応じて医師等と連携できる体制を作っていく。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	<input type="radio"/>		安全計画に則り、研修及び訓練を行うようとしている。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	<input type="radio"/>		研修や訓練の報告をHUGで行うようとしている。また、報告書等を事業所入口に置き、いつでも閲覧できるようにしている。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。		<input type="radio"/>	その日のヒヤリハットを業務日報に記載し、確認できるようとしている。	ヒヤリハットについて話し合う時間が十分に確保できていない。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	<input type="radio"/>		ジョブメドレーで研修を行えるようとしている。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	<input type="radio"/>		身体拘束適正化委員会で身体拘束を行う場面等を話し合い決めていく。 計画に記載が必要な児童はないが、どのように記載するかは決めている。	